

## [パターンの分類]

### I. Diatonic Pattern (パターン1～15)

diatonic (その調の構成音を積み重ねた和音) からなる

⇒ 分かりやすく一般的なコードイメージのため、入門コースとして使用

### II. Non-Diatonic (mode motion) Pattern (パターン16～21)

non - diatonic (その調の構成音以外の和音を含む旋法的アプローチ) からなる  
教会旋法 (church mode) からヒントを得た

⇒ 一時的な転調感や独特な雰囲気演出できる、即興時、音設定に注意を要す

### III. Beatles Chord Pattern (パターン22)

Beatles の楽曲をヒントとした mode motion、ブルース、ペンタトニック、  
マイナー・メジャー、などが混在したもの

⇒ “どこかしらずれた感じ” のパターンのため、上級コースとして使用

### IV. Blues, Jazz, Bossa Nova Pattern (パターン23～28)

音楽の意匠 (スタイル) によったもの

⇒ リズム性におけるノリを大切に、また “ファ抜きにする” など音設定に注意

### V. 響き (Hibiki) Chord Pattern (パターン29～30)

i) Pentatonic (+One=シ) Chord パターン

各コードの第3音を抜きコード機能を弱め、  
ファ音を抜いたペンタトニック的アプローチ

⇒ オリエンタルな雰囲気合わせやすい

ii) Zebra (黒鍵; 根音+白鍵; ペンタトニック) Chord パターン

不協和音 (半音や2度音) を意図的に組み入れた多調 (ポリ・トナリティ) 的アプロ  
ーチで、コード (和声) 機能を更に弱めた

⇒ “合っているのかな、いないのかな?” という雰囲気であるが、

音楽的には複雑な印象であり、通常のコードの響きにはない深さも感じさせる